

江草校友会会長勇退インタビュー

東日本大震災の被災地の校友会支部の皆様

このたびの東日本大震災の被災地にある校友会支部の皆様には、不安の中、不自由な生活を余儀なくされておられることと心を痛めております。また被災地に居られる方と未だ連絡がとれずにいる皆様に心よりお見舞い申し上げます。

校友会としては、災害に遭われた校友の皆様への情報収集を行っております。被災地或あるいは近隣の情報がお手元にございましたら詳細でなくとも結構です。校友会事務局にご連絡頂ければと思っております。被災地の一日も早い復興を衷心よりお祈りいたします。

立教大学校友会

前会長 江草忠敬

校友会会長を2期4年務められた江草忠敬氏(35社)に4年間を振り返っていただきました。

「在任期間を振り返っての感想をお聞かせください。」

副会長として会長を支えて4年、そして後を引き継ぎ会長として4年。校友会の活動、役割は「校友の親睦」と「大学への物心両



「心に残る思い出は何ですか?」

面への貢献」だと思えます。その実現のためには、校友の輪が大切であり、校友同士が手を結ぶことが広がりを作り出すことに繋がります。

会長就任以来、実務面に積極的に取り組み、校友会副会長の皆さんが7つの委員会の委員長とペアを組み活動するシステムも導入。国内外の地域・職域の立教会等にも積極的に参加しました。各地の取り組みを知り、様々な意見を伺い、またそれを地域支部代表者会議で成功例として紹介することによって新しい活動が生まれました。例えば大学の協力も得て講演会やシンポジウム開催への講師派遣など、その地域との関係強化に活



かしていただけたと思っています。そこで得られた多くの皆さんと交わした名刺が私の宝物であり財産です。

そしてもう一つ、立教会の創立や維持発展に御苦労されてこられた多くの先輩になんとか感謝の気持ちを伝えたいと思い、現在約200名の方に感謝状の贈呈を行いました。多くの反響をいただきました。嬉しかったことです。

校友の方も立ち会われたいかもしれませんが、この4年間に様々な学部・運動部・各立教会などが創設50・80・100周年という節目を迎えました。

「今後の校友会についてどうお考えですか?」

校友会数は17万人に達します。平成卒の会員が46%、女性会員が32%。校友のニーズも変化します。現在の取り組みの充実をベースにして、新しい校友ニーズにこたえるために、校友から寄せられた貴重な維持会費を活用することをお考えです。

インタビュー後記

会長が積極的に出向かれた各地の校友の集いに、我々会報委員も取材で一緒に集ったことが思い出されました。各地の立教会では、アットホームな活動や講演会などのアカデミックな活動を通して地域との繋がりを深めておられました。そして、出合いの大切さを実感することができたインタビューでした。

会報委員 水野 敦彦(54法)

とを心がけなければなりません。事務局には、その重要性を意識してもらおうべく「準備がすべて、あわてず事前に考えること」が大切だと話してきました。学院・大学に、学生・保護人などと同様にステークホルダーの重要な一員として校友会の存在を認めていただけるようになり、先年秋から「校友会・大学連携活動推進に関する意見交換会」が設けられました。このような大きなうねりが、今後の大学が抱える厳しい環境を乗り越えるために校友会が大きな協力を果たしていくことに繋がることでしょう。

「校友・学生へのメッセージをお願いします。」

「恋人の居ない人生は虚しい、友達が居ないのはもつと虚しい。校友との出合いを大切に。校友は財産です。」先輩・後輩との出合いは己の成長に役立つと思います。目に見えない縦糸横糸が織りなす素晴らしい出合いの場が校友会の集いだと思います。出合いを大切にしてください。人生を送ってください。

会報委員 町田 香子(55法)

定期代議員会 開催される



田尾新会長(右)から江草前会長へ花束贈呈

4月16日(土)池袋キャンパス11号館A B O 1教室にて、定期代議員会が開催され、平成22年度の事業概況報告、次期評議員候補者推薦委員会の開催についての報告がなされました。引き続き議案として、校友会資産の運用について、平成23年度事業計画、収支予算について協議され、承認されました。また、東日本大震災への校友会の対応についても協議され、校友会として義援金口座を開設することが承認されま

した。(詳細は8面「義援金ご協力をお願い」をご覧ください。)

次期代議員候補者決まる

次期代議員候補者推薦委員会委員長の内藤博子氏(33英)より、平成23・24・25・26年度の代議員候補者が提示され、承認されました。新代議員の方のお名前は次号の会報に掲載致します。

江草校友会会長(35社) 勇退

2期4年の任期満了を迎えた江草忠敬校友会会長(35社)の勇退に伴い、昨年11月の代議員会で組織された次期会長・監事選考委員会委員長の砂田郁郎氏(31経)より、田尾兵二校友会副会長(40営)を推挙する旨提案され、承認されました。

体育会 OB・OGクラブ 新会長決まる

4月25日(月)、セントポールズ会館にて体育会OB・OGクラブ臨時総会が開催されました。2期4年を務められた任期満了を迎える田尾兵二会長(40営 日本拳法部)のご勇退に伴い、新会長に肥田隆雄氏(45法 相撲部)が選出されました。



肥田 隆雄氏

「行田まち歩きマップ」ぶらぶら行田へ 作製・配布にひとい

立教大学では、株式会社武蔵野銀行との産学連携協定に基づき取り組みとして、まち歩きマップを作製するとともに、まち歩きイベントも行ってきました。2010年度は、2008年度の「ぶらぶら行田」2009年度の「ぶらぶら行田」に続く第3弾として、行田市を対象とした「ぶらぶら行田」を作製しました。観光学部の学生が現地調査を繰り返した結果、興

味を持ち、面白いと感じたものの中から、「懐かしさ」や「はじめて」をキーワードに様々な内容を盛り込みました。本学のほか、武蔵野銀行本店、埼玉県庁、行田市役所、秩父鉄道各駅、JR高崎線熊谷駅、行田駅等で配布しています。

【問合せ先】

立教大学リサーチ・イニシアティブセンター(新座キャンパス)

048・471・6901

